



# ディグニティセラピーのすすめ

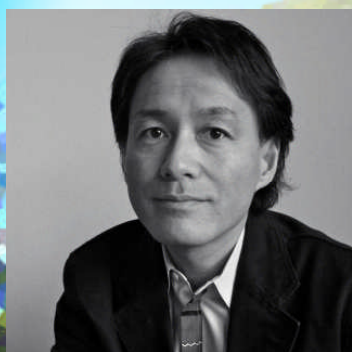
こもり やすなが

講師 小森 康永 氏

愛知県がんセンター中央病院緩和ケア部部长

平成25年10月18日(金) 18:00～19:30

会場: 山梨大学 医学部キャンパス 臨床講義棟 大講義室  
(山梨県中央市下河東1110)



「ディグニティ」とは、尊厳という意味です。「ディグニティセラピー」とは、終末期の患者さんの尊厳を維持することを目的とする精神療法的アプローチのひとつです。がんの末期にある患者さんたちに、これまでの人生を振り返り、自分にとって最も大切になったことをあきらかにしたり、周りの人々に一番憶えておいてほしいものについて話す機会を提供するものです。

愛知県がんセンター中央病院ホームページより

([http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/hosp/15anti\\_cancer/dignity-therapy.html](http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/hosp/15anti_cancer/dignity-therapy.html))

### ■講師略歴

1960年岐阜県生まれ。1985年岐阜大学医学部卒業。同大学小児科入局後、Mental Research Institute留学を経て、名古屋大学精神科に入局。現在、愛知県がんセンター中央病院緩和ケア部部长(精神腫瘍診療科)。医学博士、臨床心理士。専門領域:家族精神医学、精神腫瘍学。

著書:「ナラティヴ実践再訪」(金剛出版、2008)、「緩和ケアと時間」(同上、2010)、「ディグニティセラピーのすすめ」(チョチノフとの共著、同上/Hakjisa、2011)、「終末期と言葉」(高橋規子との共著、金剛出版、2012)「バイオサイコソーシャル・アプローチ入門」(渡辺俊之との共著、同上、近刊)

訳書:ホワイトとエプストン「物語としての家族」(金剛出版、1992)、チョチノフ「ディグニティセラピー」(北大路書房、2013)など多数。

現在、雑誌『精神療法』に「医学目的の文学手段」を連載中。

山梨大学医学部キャンパス



**入場無料・事前予約不要**

興味のある方は、どなたでも聴講できます。  
この機会に是非、お越しください。

主催・お問い合わせ:山梨大学附属図書館医学分館

☎ 055-273-9357    ✉ [servmed@yamanashi.ac.jp](mailto:servmed@yamanashi.ac.jp)